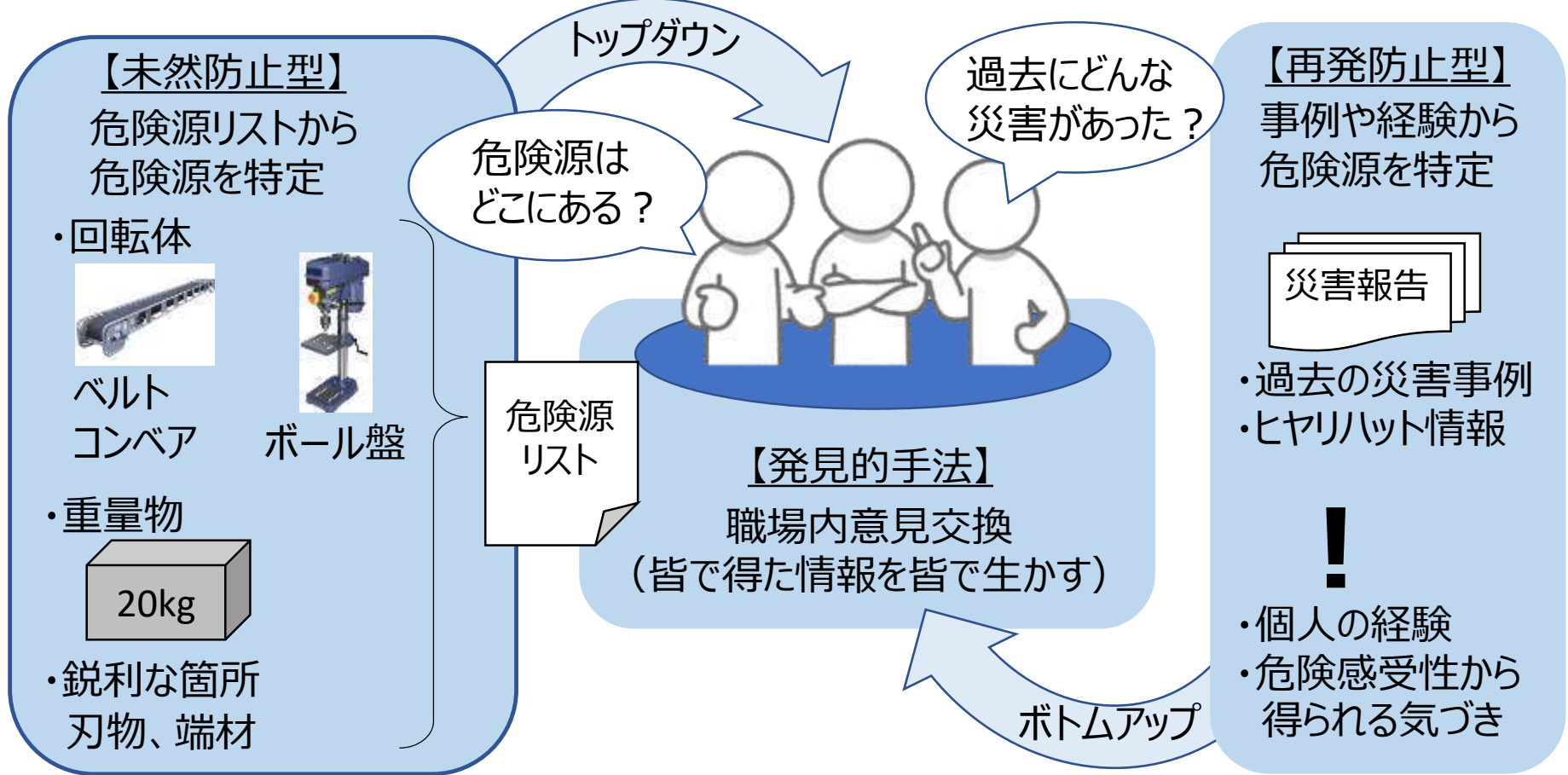


これまでの議論のとりまとめ

資料 1

<リスクアセスメントの型について>



<現状>

再発防止型の観点が必要視され、未然防止型の観点が弱く網羅的なRAまで至っていない。

- ・危険源リストの利用が不透明
- ・再発防止型の情報量に限界がある

今後の進め方（案）

- ・発見的手法を潤滑に行えるよう、わかりやすいコミュニケーションツール案を作成。
（現在、事務局で試作中）
- ・業態横断的な情報の共有化により、再発防止型の情報量と危険源の具体例を増やす。

コミュニケーションツール案イメージ

- ① ISO（JIS）を元に危険源の一覧を作成。
その際、具体的な単語を挙げ、事故の型との関連性も明確にする。
- ② 一覧に写真やイラストを掲載し、より具体的な理解を促す。
- ③ 作成時は既存テキスト類も参考にする。
- ④ 現場が皆参加して意見交換しやすい。

